




- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


 **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

 **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

 **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※ ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。  
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

 **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>

### 警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16（C種）以上で施工してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上の注意>

### 注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱の低部についているモルタル防止キャップ（テープ含）や柱補強材は取外さないでください。また柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■ 梱包明細表

### 【1】 フェンス

名称	略図	員数
フェンス本体		1

### 【2】 主柱

名称	略図	員数
主柱 (T-6A,T-8A)		1
主柱 (T-8B,T-10B,T-10C)		1

### 【3】 端柱

名称	略図	員数
端柱 (T-6A,T-8A)		1
端柱 (T-8B,T-10B,T-10C)		1

### 【4】 角柱

名称	略図	員数
角柱		1

### 【5】 LM主柱・LM端柱部品

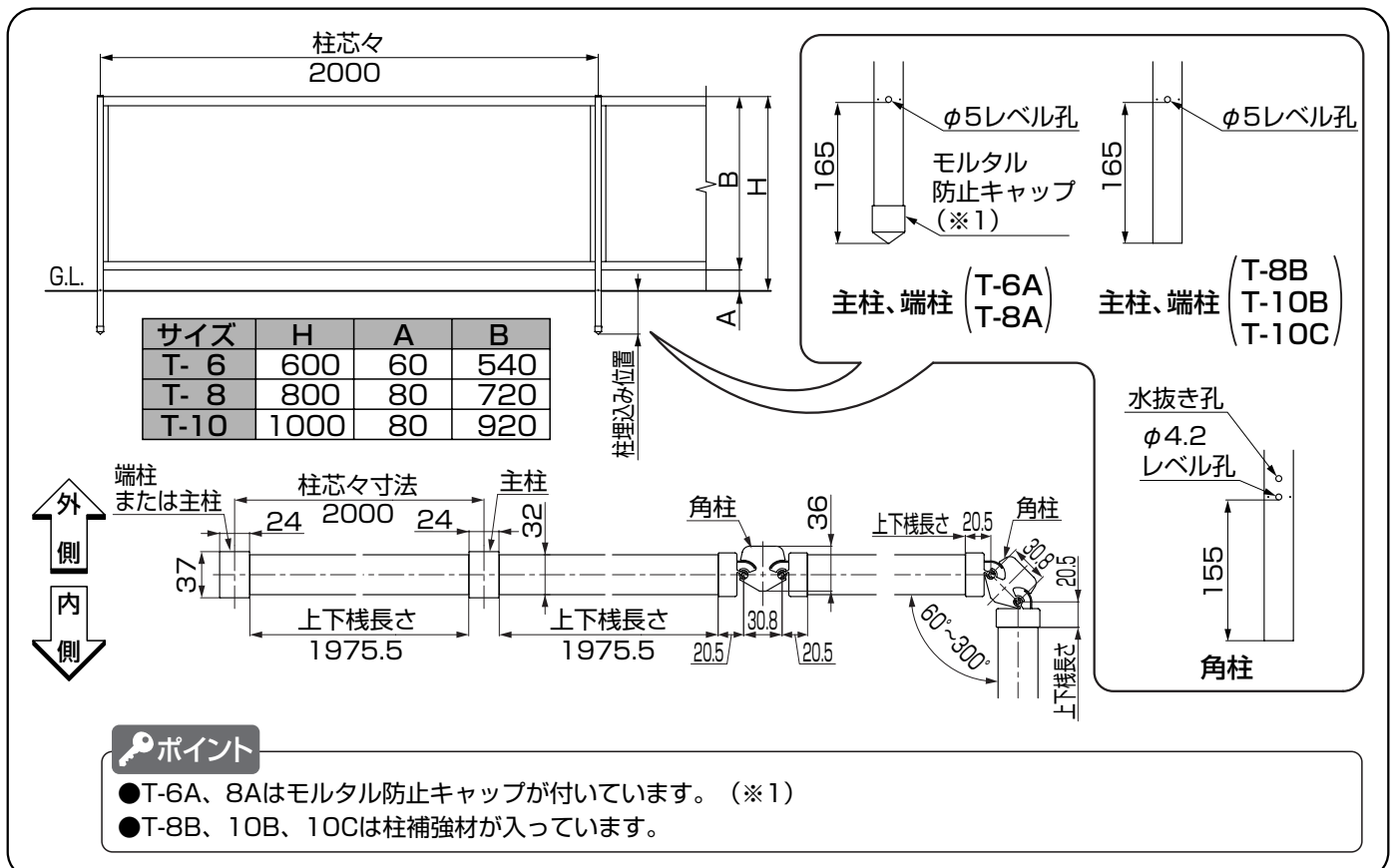
名称	略図	員数	
		LM主柱部品	LM端柱部品
上棧ジョイント(右)(左)		右各1	左各1
下棧ジョイント(右)(左)		右各1	左各1
柱キャップ		1	2
【5-1】φ4×8サラタッピンネジ1種		6(※1)	7(※1)
取付説明書 (C391)	—	—	1
取扱説明書 (UC007)	—	—	1
注意シール	—	—	1

### 【6】 LM角柱部品

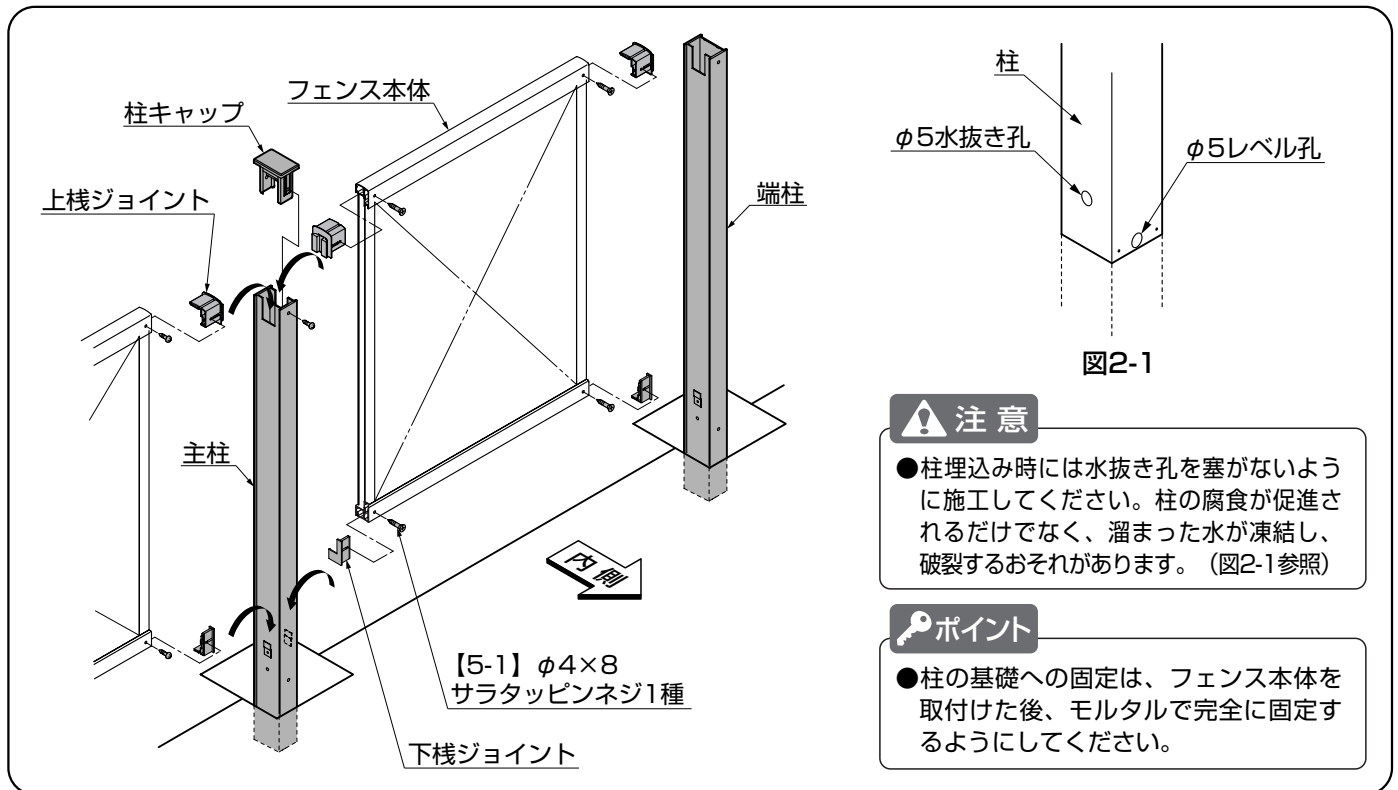
名称	略図	員数
上棧ジョイント(右)(左)		右各1
下棧ジョイント(右)(左)		右各1
柱キャップ		1
コーナージョイントキャップ(右)(左)		右各1
【6-1】φ4×8サラタッピンネジ1種		7(※1)
【6-2】φ4×12サラタッピンネジ1種		1

※1 予備ネジ1個が含まます。

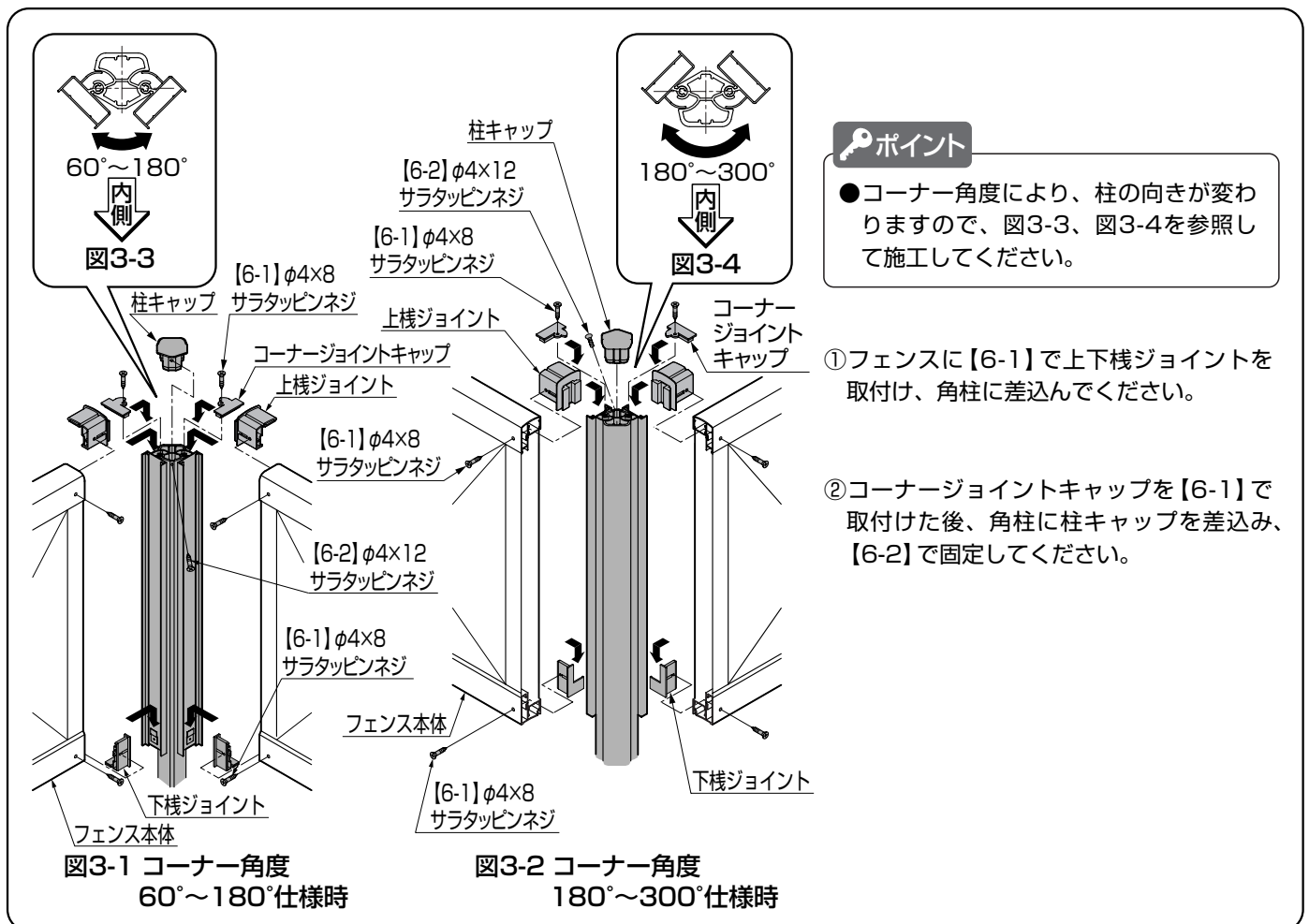
## 1. 基本寸法図



## 2. 本体の取付け



## 3. コーナー部の取付け



## 4. 本体の切り詰め ※本体を切り詰める場合の作業です。

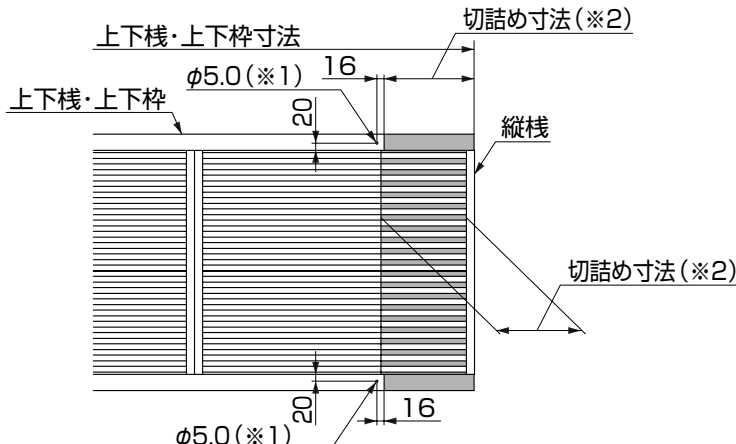


図4-1 横板フェンス  
(B1型、B3型、YS型、YP型、LP型、BP型、)

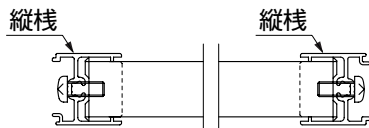


図4-3 B1型、B3型の縦棧取付け

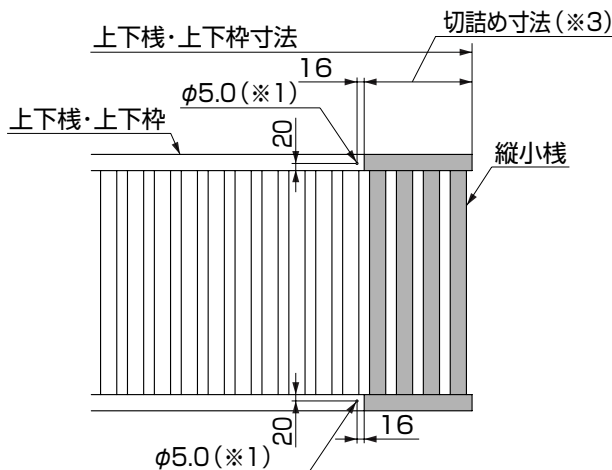


図4-2 縦板フェンス  
(B2型、B4型、TS型、TP型)

①本体の上棧、下棧、上下枠、小棧など各部材を図4-1、図4-2を参照して切断してください。

### ポイント

●上棧、下棧、上下枠、小棧の切断する寸法は、すべて同じ寸法です。(※2)

②横板フェンスは、縦棧を切断した端部個所に取付け直してください。

### ポイント

●B1型、B3型は、本体左右で向きを違えて取付けてください。(図4-3参照)

●YS型、YP型の縦棧は上下の向きが、LP型の縦棧は左右勝手があります。

③上棧、下棧にφ5.0の孔をあけてください。(※1)

### ポイント

●φ5.0の孔加工は内側のみです。

④上棧、下棧、上下枠、の各部材をもとのように取付けてください。

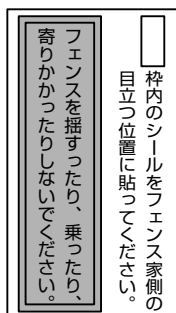
### ポイント

●切り詰め寸法は表4-1のピッチで行なってください。(※3)

表4-1

B2型	25mmピッチ
B4型	60mmピッチ
TS型	165mmピッチ
TP型	198mmピッチ

## 5. 注意シールの貼付け



①必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

### 注意

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード

**C391**

JZZ619455D  
201001A\_1001  
201210E\_1001